



海上安全だより

海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部

交通部

平成22年7月 No.12

平成22年度**全国海難防止強調運動**が7月16日～31日までの間実施されます。

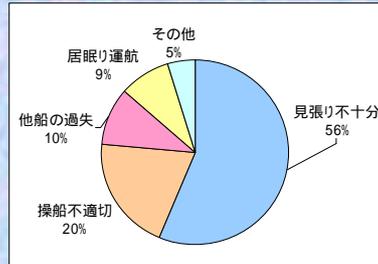
本運動では

- 見張り不十分又は操船不適切による衝突海難の防止
- 海中転落した遭難者が無事生還するために有効なライフジャケット着用の推進等
- 気象・海象不注意による転覆海難の防止
- 走錨等による乗揚げ海難の防止

を重点に海上保安庁及び関係機関で**海難防止活動の強化**を図ります。

事故原因別発生状況(平成17年～21年)

異常気象を除く



衝突原因

第1位
見張り不十分 約6割



転覆原因

第1位
気象海象不注意 約6割

北海道周辺海域での過去5年間の海難発生状況は、**小型船**(漁船、プレジャーボート、遊漁船)による海難が全体の約8割を占めています。また、全船種を対象とした死亡・行方不明者を伴う海難では**衝突**、**転覆**が上位を占めています。乗揚げ海難は約1割ですが、発生すると、人命はもとより沈没、油流出などによる環境汚染が懸念されます。



(H21.4十勝大津漁港)



(H22.3石狩湾)

(お知らせ)「港則法及び海上交通安全法の一部を改正する法律」が施行されます。

昨年7月3日に公布された「港則法及び海上交通安全法の一部を改正する法律」が本年7月1日から施行されます。特に東京湾など、ふくそう海域の通航ルールが変更されています。変更内容の詳細は海上保安庁のホームページで確認して下さい。なお、AISに関する改正の概要は次のとおりです。

AISの「目的地に関する情報」の入力方法がルール化されます。

<入力方法>

AISの目的地情報欄

> _____ / _____

「>」、「/」、「」(スペース・空白)も忘れず入力して下さい。

<入力例>

(1) 小樽港を目的港とし、入港前に港の境界付近で錨泊する船舶。

> JP OTR OFF

目的地が小樽港(OTR)
入港前に港の境界付近で錨泊。(OFF)

(2) 苫小牧港を目的港とし、第1区晴海ふ頭の岸壁に向かう船舶。

> JP TMK C

目的地が苫小牧港(TMK)
第1区晴海ふ頭の岸壁へ(C)

目的地を示す記号(国を表す記号と港を表す記号の組合わせ)
港内での進路を示す記号(係留場所等を示します)
その他必要な情報を示す記号(通過するルート等を示します)

適用港の港コード(例)

入力する記号は、海上保安庁が提供しているパンフレットやHPを参考にして下さい。

注意

AISの誤入力の事例が見受けられます。船舶航行の安全性向上のため適切な入力をお願いします。
出港前等、できる限り早期の入力をお願いします。

AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報が正しく入力されているか定期的に確認しましょう。
- (3) 船舶データ、船舶の動静(航行中、錨泊中等)、目的地およびETA(到着予定時刻)の航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (4) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (5) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで
TEL 0134-27-0118
(内線: 2615、2623)

次号へ続く～